

令和 8 年度 第 1 回成田市水道事業運営審議会 会議概要

1 開催日時

令和 8 年 5 月 20 日（水）午後 4 時から午後 5 時まで

2 開催場所

成田市花崎町 760 番地
成田市役所 議会棟第三委員会室

3 出席者

(1) (委員)

加瀬林会長・岩館副会長
椎名委員・沢田委員・伊地知委員・伊藤委員

(2) (事務局)

大須賀部長・白鳥業務課長・岡野工務課長・藤澤業務課長補佐
平野業務課業務係長・仲嶋工務課整備係長・永峯工務課維持管理係長

4 議題

- (1) 「成田市上下水道アプリ」の導入について
- (2) 水道料金の減免支援について

5 質疑

【岩館委員】

上下水道アプリの運用について、運用は委託するのか
災害時の通知などができるとのことだが、通知は 24 時間対応なのか

【事務局】

運用は、水道料金徴収業務の委託先に委託する
緊急の場合は 24 時間対応となる
例えば、地震などでこのエリアが断水している場合、直接そのエリア
の方に通知することができる

【伊地知委員】

今後、上下水道アプリ運用の委託業者が変わることはあるか

【事務局】

去年の 10 月から水道料金徴収の委託業者が変わったが、この契約期間
は 5 年間となっている
変更する場合は、トラブルの無いよう引き継ぐ

【沢田委員】

上下水道アプリは、個人向けのものか

【事務局】

使用者に割り振られている「お客様番号」をもとに登録できるので、個人でも法人でも利用できる

【伊藤委員】

上下水道アプリに登録した場合、検針票や納付書は発行されないのか

【事務局】

上下水道アプリに登録した場合は、検針票や納付書を発行しない
これにより、郵送料や用紙代が削減される

【伊藤委員】

口座振替、納付書払いの割合は

【事務局】

口座振替 62%、納付書払い 37%、それ以外に集金や窓口払いが 1%

【伊地知委員】

災害時に通知がなされるとのことだが、通信ができない場合は

【事務局】

通信ができない状態では、お知らせを確認することはできないが、この機能は、これまで実施してきたホームページや防災無線などによるお知らせに追加され、情報取得の手段が増えることと位置付けている

【岩館委員】

スマホ決済は PayPay とあるが、他の決済手段については

【事務局】

上下水道アプリからのアプリ決済は、現在 PayPay のみが対象となっており、今後拡大していきたい

【加瀬林委員】

上下水道アプリの通知機能は、災害時以外においても、広報手段として活用してもらいたい

参考までに、成田ニュータウン地区は県営水道エリアのため、市の上下水道アプリは登録できないが、県の水道ポータルを利用できる

【伊藤委員】

広報の表現について、上下水道アプリを登録するとアプリ決済をする必要があり、口座振替の利用者は、上下水道アプリを利用できないかのように思えるので、工夫してもらいたい

また、上下水道アプリに登録すると紙の通知書がなくなるとのことだが、紙が必要な場合に、追加料金を払って発行してもらえるのか

【事務局】

広報の表現については工夫したい

紙の通知書が必要な場合については、上下水道アプリの登録を解除す

れば、発行さる

【岩館委員】

上下水道アプリの導入の費用対効果については
スマートメーターの導入については

【事務局】

上下水道アプリの登録により、納入通知書などを発行しなくなるので、その郵送料金や印刷費が削減でき、加入率 10%で約 80 万円、20%で約 160 万円の削減効果となる

導入費用は約 800 万円のため、加入率が 15%となれば 7 年程度で回収できる

スマートメーターについては、電気やガスでは導入が進んでいるが、水道では、大規模な水道事業体が実証実験をしている段階のため、今後検討を進めたい

【椎名委員】

減免の対象が水道口径 13mm から 25mm とのことだが、これ以上の口径に対する減免は

【事務局】

主に一般家庭が対象としており、大口径の利用者は大規模事業者のため、今回の減免対象とはしていない

【伊藤委員】

上下水道アプリの登録者は 2 か月分追加で減免するとのことだが、このこと理由は

追加減免は、納付書の用紙代やその郵送料などが削減され、これを登録者に還元するとのことだが、登録できない人もいるので、広報を工夫する必要がある

上下水道アプリについて、随時水量が確認できるように思えるが、随時できるのではなく、過去の水量が確認できるのであれば、このことも広報を工夫する必要がある

【事務局】

県において、県営水道エリアの成田ニュータウン地区の利用者に対し、マイポータルに登録した場合 2 か月追加で減免するため、これに準じた追加減免に関する広報手法については、わかりやすく工夫したい

上下水道アプリで確認できるのは検針時の水量となり、現在の水量が確認できないことについても、広報手法を検討したい

【加瀬林委員】

高齢者への対応について、上下水道アプリを登録できない場合、恩恵を受けられないと考えるが、不平等・不公平感対策については

【事務局】

上下水道アプリのインストール方法や登録手続きについて市民にわかりやすく周知するほか、水道部や下水道課において、登録を個別に支援することを予定している

【伊藤委員】

「広報なりた」は新聞に折り込まれるが、新聞を購読していない市民に対する周知方法は

【伊地知委員】

「広報なりた」は市のホームページやLINEでも確認できるが、紙の方が分かりやすい

【事務局】

検針時に減免についてのチラシを投函することで、個別に周知する予定

【伊藤委員】

高齢者などに分かりやすくするため、チラシには、成田ニュータウンは対象外であることや、20%減免することを大きく表現してほしい

【事務局】

承知した

【加瀬林委員】

減免対象となる水道管口径の割合は

【事務局】

令和7年度調定件数では、減免対象となる13mm、20mm、25mm口径を合計すると、全体の約99%となる

【伊藤委員】

PFOSについて、市議会一般質問において市内事業所で検出されたことに対し、周辺で検査を実施しているとの答弁されたことについて、水道事業への影響は

【事務局】

水道事業では、令和2年に水質管理目標設定項目に指定されたため、並木町水系で検査をしたが、検出されていない

令和8年度からは水質基準項目となり、水質検査結果は全てホームページで確認できる

現在のところ基準値を超えて検出されているところはない